

氏名 長澤 幹

所属 岩手医科大学附属病院 糖尿病代謝内分泌内科

役職 助教

これまでのキャリア

岩手県盛岡市出身、盛岡一高→岩手医科大学卒です。

岩手医科大学附属病院で初期研修後、社会人大学院を経て学位を取得。

秋田県鹿角市のかづの厚生病院消化器内科で2年間勤務の後、現職についております。

私のもとではこれが学べる

糖尿病代謝、内分泌全般、特に持続血糖測定やインスリンポンプなど最新のツールを用いた糖尿病治療が専門ですが、岩手県は人口に対する糖尿病患者さんが多いわりに、専門医の数が非常に少ないため沿岸や県北などの診療応援に出る機会が多いです。全ての機器がそろった環境で加療できるとはかぎりませんので、その患者さんの生活背景を鑑みたうえで、現実的な最良の選択肢を相談して決定するというプロセスを重要視しています。急性期とはまた違った慢性期疾患の管理や、患者さんとの人生との関わり方などを皆さんにも知っていただければ幸いです。

教育にかける思い

私は大学病院に勤務しているため、医学生、研修医、内科専攻医それぞれの教育に携わっております。それぞれの立場毎に異なる特有の悩み、そして乗り越えた後の喜びがあるのをこの目で見てきました。一人の人間が医師となるまで、そして医師として少しずつ成長していく過程を、共に歩む事は私にとっても学ぶ事が非常に多いです。上から指導するのではなく、皆さんと一緒に成長していくことが理想の形であると思って取り組んでおります。

医学生へのメッセージ

医師としての基礎知識や技術を学ぶことは非常に重要ですが、それ以上に重要なのはプロとしての自覚、責任感だと思います。人間としても魅力のある医師になっていただきたいですし、そんな先生と共に働けることはこの上ない喜びです。